

三条市子ども・若者総合サポートシステム
平成 26 年度活動実績・平成 27 年度活動計画
【若 者 支 援 部 会】

《平成 26 年度活動実績》

1 若者支援部会 対象者の把握状況と対応

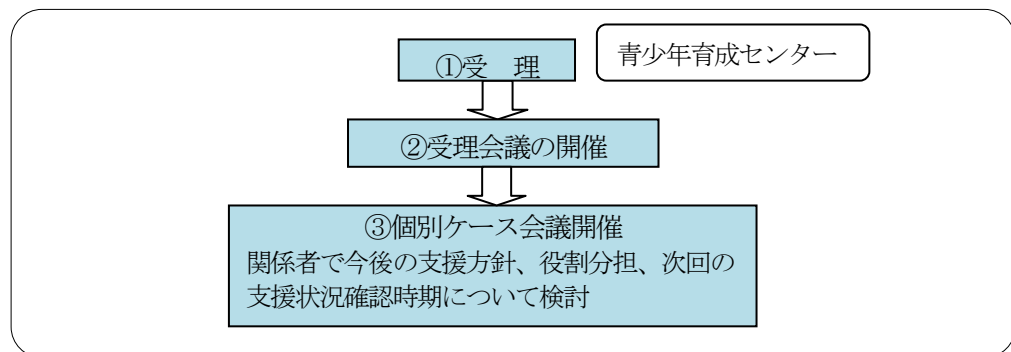
(1) 把握件数（平成 27 年 3 月末現在）

区分	ひきこもり（若者）			
人数（人）	8			
他の区分と重複している件数	虐待 —	非行 —	不登校 —	障がい 1

(再掲)「個人情報の取扱いに関する同意書」提出件数

区分	ひきこもり（若者）
人数（人）	8

(2) 受理後の対応



2 若者支援部会 会議開催状況

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等	参加機関数
実務者会議	第 1 回	3 月 10 日	栄庁舎	・ ひきこもり支援の現状と課題について ・ 今後の若者支援について	9 機関
個別ケース 検討会議	1 回	4 月 25 日	父親からの身体的虐待として受理した不登校の高校生徒について、関係者で検討を行った。 ・ 情報の共有、支援内容の検討、今後の確認等について協議		

3 周知活動

- (1) 燕市内の高等学校に対し、三条地域若者サポートステーションと共に総合サポートシステムについて周知を行った。
- (2) 中学校 3 年生の保護者に対し、総合サポートシステムについて周知を行った。

4 研修会・講演会

子ども・若者支援に関わる青少年相談員等の資質向上を図るため研修会に参加した。

回	月 日	場 所	内 容	参加人数
1	8 月 29 日 (金)	勤労青少年 ホーム	若年者職業支援ネットワーク会議	1 人
2	10 月 20 日 (月)	新潟県 自治会館	子ども・若者育成支援推進に関する市町村等担当者会議 ・新潟県ひきこもり地域支援センターについて ・事例発表	2 人
3	11 月 25 日 (火)	三条市役所 栄庁舎	三条市子ども・若者総合サポート会議 ・障がい支援部会専門研修会	2 人
4	11 月 27 日 (木)	見附市 文化ホール アルカディア	新潟県青少年指導委員会等研修会 ・ひきこもりの現状と取組	14 人

5 成果・課題

活動の成果	活動から見てきた課題
・実務者会議において、現状及び今後の若者支援についての意見交換などを通じて、情報交換、共有化が図られ、義務教育以降のサポート体制の重要性について再認識された。 ・平成 27 年 4 月から、育成センターと若者サポートステーションが、共にものづくり学校へ移転し、連携が強化される土台が整った。	・義務教育後の中退やひきこもりを防ぐため、本システムについて保護者や関係者等への周知をさらに徹底する必要がある。 ・育成センターの相談事業を委託することを契機に、若者サポートステーションはじめ、関係機関との連携をさらに強化し、潜在する相談者の把握を進めていく必要がある。

《平成 27 年度活動計画》

1 会議開催予定

会議名	回	月	場 所	内 容 等
実務者会議	第 1 回	11 月	青少年育成 センター	青少年相談業務関係者等研修会 ・不登校、ひきこもり対応について
	第 2 回	2 月	青少年育成 センター	意見交換会 ・不登校とひきこもりの現状及び具体の対処法について等
個別ケース 検討会議	随時			・ケースの情報共有・進行管理 ・既存登録者の現状把握、今後の支援方針、 役割分担等の明確化 ・他部会との連携、情報共有

2 周知活動

- (1) 中学校 3 年生の保護者に対し、総合サポートシステムについて周知
- (2) 市内及び近接地の高等学校等の生徒及び保護者に対し、総合サポートシステムについて周知
※育成センターと若者サポートステーションがものづくり学校内に移転、連携強化したことを含む